

田んぼだより

平成 20 年

8月 号

Vol. 65

次回の田んぼ便りは
9月1日発行予定!

地震が相次いで発生

しています。7月19日、
21日には福島県沖で、
24日には岩手県沿岸北
部で大きく揺れました。

これだけ地震が頻発す
ると、私達も地震に慣
れ、危機感も薄れがち
です。しかし、次も大

丈夫とは限りません。
一層気を引き締めて備

えなくてはなりません。

雁の子供達がおそろいの
Tシャツを作りました。



子供達は下畑で、
生き物調査に行く時は
シャツを着て参加しています。

〔猛暑と空梅雨〕

今年の夏は空梅雨で、
時折、まとまった雨が
どつと降ったかと思っ
と、すぐにまた真夏の
暑さに戻る、といった
感じでした。そのため、
田んぼも例年とは違う
様相を呈しています。

特に、7月の猛暑に
よって稲の生育が進み、
例年であれば8月5日

ごろから出始める穂が

7月末に出始めました。

これには農家の人達も

驚いています。

また、猛暑と空梅雨

で田んぼの水がすぐに

減ってしまうため、水

管理に苦労しました。

一部の田んぼでは水が

なく、地面が露出し、

そこから次々と雑草が

生えてしまっています。

一方で、じめじめと

雨が続いた訳ではなか

ったので、いもち病な

どの冷害の心配からは

解放されました。

天候はやはり一長一短、

万事都合よくとは行か

ないものですね。

生き物調査が大好きな子供達は、

毎日田んぼで遊ぶようになりました。



毎日田んぼで
遊ぶようになりました。

米 曆 ~こめごよみ~

7月2日~ 畦畔草刈をしました

7月7・14・24・ 田んぼの草取り
25・29・30日 をしました。

7月3・4・6・ 田んぼの生き物
13・15・17・ 調査をしました。
20・23・26・
27日

各地の田んぼで行った生き物調査では、
去年見られなかった様々な生き物が見
られました。

嫁日記

7月7日、和歌山の実家から
母や兄弟がはるばる煌人を見
に来てくれました。翌日、
皆で神社にお礼参りに行き、
夜はお七夜代わりの食事会
を一同揃って行いました。

以前から、なかなか男の子
に恵まれないことについて、
おじいさんから時々皮肉を

言われていました。しかし、
よもやお七夜のおめでたい
席で、私の家族を前にして、
「次男の嫁はとっくに男子を
二人産んだのに、ひかるは
さっぱり。本当にやっとだ」
なんて言われようとは…!

生まれたんだから、いいじ
ゃない!!「ありがたい」と
いう言葉を、本当に知って
頂きたいものです(怒怒)。

絵と文/小野寺 ひかる

※田んぼの雑草であるヒエやコナギは、田んぼの水を深く張り続けると芽が出てこなくなります。その性質を利用して、無農薬栽培では田んぼに水を深く張って維持します(深水管理)。しかし、一度水がなくなって地面が露出すると、雑草が一斉に芽を出して繁茂し、稲の生育を阻害してしまいます。